

ドーン DAWN 通信

第26号

2017.3

身近なこと、できることから応援していきたい

私は日本社会の研究を通して、ジェンダー問題に対応している様々な日本人の学者や活動家に会ってきました。女性のエンパワーメントの事業を企画する人、DV被害者支援カウンセラーなどはもちろんですが、日常生活でもジェンダー問題に対応している人にもたくさん出会いました。

去年、私が出張からパースへ帰ってきたとき、ホテルでもらったシャンプーなどのアメニティーが家に山ほど溜まっている事に気がつきました。処分するのももったいないし、何か役に立たないかと思いながらネットで調べてみました。

そこで2009年にオーストラリアのビクトリア州で成立した「Pinchapoo」(URL www.pinchapoo.org.au/) というNPOを知りました。DVの当事者の女性が作ったその団体のネットワークは、オーストラリア国内にあり、ホテルがくれる余分のシャンプー、歯ブラシなどを収集してシェルターに分配することが活動目的です。余分のアメニティーを集めて寄付することによって、シェルター暮らしをしている人々が少しでもより楽な生活ができることになります。小さなことでも大きな結果ができるんだと実感し、これからもその活動を応援したいと思っています。

ドーン財団アドバイザー
西オーストラリア州立大学准教授
ローラ・デールズ

Support starting from the familia

Through my research on gender in Japan, I have met a wide range of scholars and activists. Among these are specialists who work on women's empowerment programs and domestic violence counseling, but there are also those who address gender problems in everyday contexts.

Last year, when returning home to Perth from a business trip, I noticed that I had a large pile of the kind of toiletries that hotels give out. It seemed a waste to throw them away, so I checked the internet to see if there was some way they could be put to use. That was where I discovered an organization called "Pinchapoo", established in 2009 by a Victorian woman who is herself a survivor of domestic violence. The organization, which has an Australia-wide network, collects unwanted toiletries that hotels provide to travelers, and distributes them to shelters. By collecting and re-distributing these toiletries, the organization is able to help make the lives of those in the shelters a little bit more comfortable.

I plan to continue supporting the good work of this organization: their work is a reminder that even small acts can make a big difference.

Dr Laura Dales
The University of Western Australia
Osaka Gender Equality Foundation Advisor

Contents

★特集

男女共同参画に関する講座・
研修コーディネイト事業

■イコラム情報

■平成28年度事業受託・講師派遣等実績一覧

ドーン財団

財団がドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）を拠点に活動してきたことにちなむ愛称。ドーンセンターとともに、ドーンと進んでいこう、という思いを込め、設立20周年を記念して平成26（2014）年度に決めました。ドーンセンターは、平成6（1994）年の開館時に大阪府の公募によって選ばれた愛称で、「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」という心意気を表しています。

ただいま、情報発信中！

財団ホームページ

<http://www.dawn-ogef.jp/>



Twitter

https://twitter.com/O_G_E_F

男女共同参画に関する講座・研修

ドーン財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念に、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを運営の目的としています。とりわけ、女性に対するあらゆる暴力の根絶を願って、各種啓発や人材育成、女性相談等の事業を展開しています。

大阪府の補助金がゼロになり、当財団が自立化法人になった平成 22 (2010) 年度以降、当財団は国の受託事業を通じ女性に対する暴力被害者等を総合的に支援する体制・人材育成の仕組みを全国で整備していく取組に関わってきました。

こうした全国レベルの事業運営で培った財団独自のノウハウとネットワークを活かし、ご依頼いただいた内容に応じて、男女共同参画に関する講座・研修のコーディネートを実施しています。これまでの講座研修例を紹介します。

女性リーダーを育成する

三重県伊賀市で平成 23 ～ 27 年度に実施した「女性リーダー養成講座（クローバーカレッジⅠ～Ⅴ）」は 1 年に 20 名、5 年間で計 100 名のリーダーを育成することを目的としたものです。プログラムは全 8 回。女性をめぐる世界や日本の現状と課題を学び、さわやかで積極的な自己表現をトレーニング、そして伊賀市の“ほっとけない”課題を見つけ、自分自身は何ができるかを考えて発表。毎回のレポート提出が必須でした。平日夜の開催では、仕事や家庭の用事を済ませて受講する姿が見られました。

修了生は計 98 名、市議会議員 3 名（平成 29 年 2 月現在）、委員への登用、地域や職場のリーダーなど、現在さまざまな分野で積極的に活動されています。平成 28 年度は、これまでの修了生を対象に「あなたの力を地域に活かす～ネットワークづくり～」と題し、同期との再会を果たし近況報告をし合うとともに、Ⅰ～Ⅴ期の修了生同士をつなぐ機会を提供。今後ますますの活躍が期待されます。

グローバルな視点を知る

「男女が一緒に気づいて広がる発見講座」では、「オーストラリアの暮らし～男女共同参画の視点から」を開催。講師は今号表紙のコラムを担当したローラ・デールズさん。専門は日本の現代女性研究です。オーストラリアの多様性、家族や友人の身近な例を通して、考えるセミナーとなりました。

三重県伊賀市男女共同参画事業
（平成 28 年 9 月～平成 29 年 1 月）



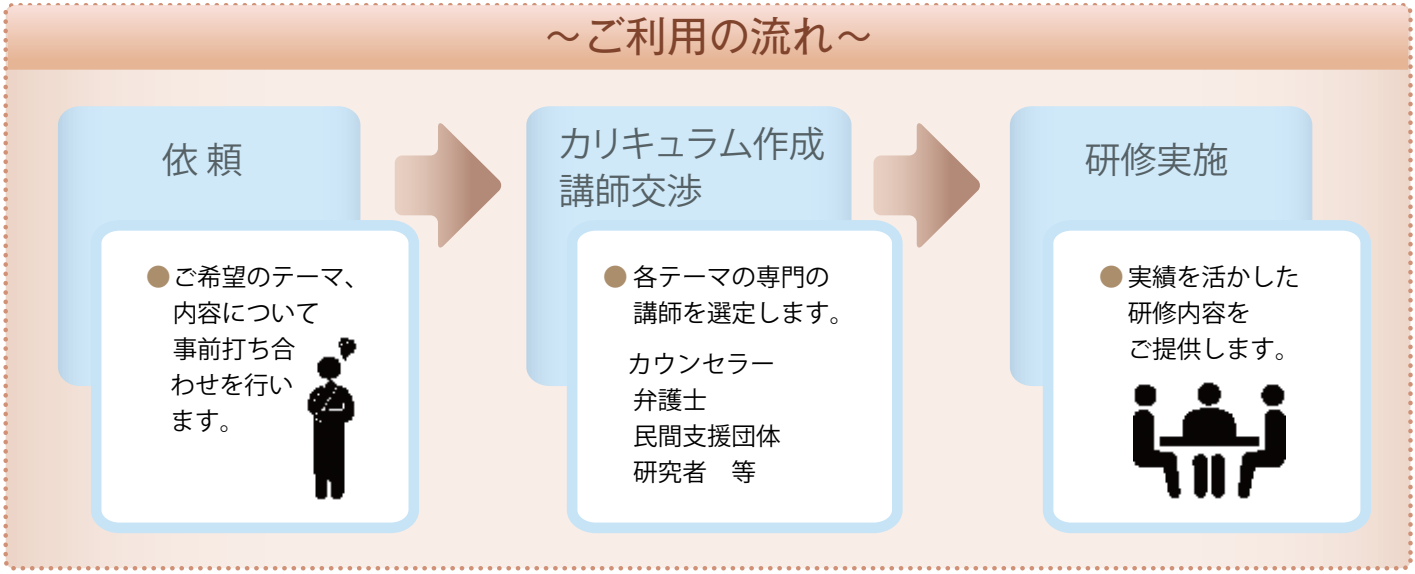
ローラ・デールズさん

支援者を バックアップする

石川県内市町における DV 相談員等を対象とした研修の企画・調整、講師の派遣をしました。研修では、DV 被害の実態や被害者の心理、相談の基本的姿勢、法知識等を学ぶとともに、事例検討やグループ討議等を通して相談対応スキルの向上をめざしました。こういった研修を重ねていくことで、地域における支援体制の充実や関係機関の連携が進んでいくことにつながっていきます。

石川県 DV 相談員等育成研修（全 4 日）
（平成 28 年 10 月、12 月、平成 29 年 2 月）

コーディネート事業を実施しています



社会のトピックスをテーマにする

「女性がもっと輝き、住めば誰もが輝くまち泉大津」を実現するため、私らしく過ごし、生きるヒントが詰まった連続講座を企画しました。

平成 28 年のトピックスの 1 つと言えば、リオデジャネイロで開催されたオリンピックです。多くの女性アスリートが活躍し、感動と元気を与えてくれました。しかし、第 1 回オリンピックでは女性の参加すら認められていませんでした。リオ五輪を取り上げながら、スポーツにおける女性の歴史をひもとく、ワークを通してスポーツの素晴らしさ、スポーツが抱える課題について考えました。

このほか、ディズニープリンセスを通して自分らしさを考えるもの、地域活動や仕事、家庭、そして「わたしの時間」を大切にするワークショップなども実施しました。

いずみおおつ女性活躍応援講座（3 回）
（平成 28 年 11 ～ 12 月）



学生のキャリアをサポートする

近畿大学総合社会学部では、授業の 1 コマ（90 分）を使って、就職活動に役立つ情報やキャリアプランを考える授業を提供しました。プログラムは全 6 回。対象は、主にこれから就職活動をする 3 回生。エントリーシート対策や基本的なビジネスマナーなど、これからの就職活動と社会生活に必要なスキルを身に付けるとともに、自己分析や社会人となった先輩との交流を通し、これからのキャリアプランを考えました。

近畿大学総合社会学部キャリアサポートセミナー
（平成 28 年 4 ～ 12 月）

お気軽にお問い合わせください。
※費用はご相談に応じます。

お問い合わせ先

TEL:06-6910-8615
Mail:jigyo@dawn-ogef.jp



#GO GIRLS! PROGRAM

～女の子のためのリーダーシップ入門講座～
に参加して

ドーン財団 本部長 仁科 あゆ美

2016年6月～10月、全4回にわたって実施された
#GO GIRLS! プログラム（主催：アメリカ大使館）に、
メンターとして関わりました。参加しているのは全国か
ら集まった中1から高3までの35人の女の子たちです。



アメリカ大使館主催の全4回のワークショップを通して、女の子たちが「自分らしく、リーダーシップを発揮しながら生きていくチカラ」を身につけることをめざします。勇気や自信が持てなかったり、自己肯定感が低くなったり、社会の中のジェンダー役割を感じて苦しくなったり、そんな女の子たちの背中をそっと押すのが私たちメンターの役割です。メンターはアメリカ国務省人物交流プログラムの卒業生で、さまざまな仕事に就く社会人が務めました。

プログラム初回には、ミッシェル・オバマ前大統領夫人やキャロライン・ケネディ前駐日大使から、自身の少女時代を振り返り「何事もチャレンジしてみよう」というビデオメッセージ『Dear Me』が送られました。他の回は、「アナと雪の女王」の主題歌 Let it go より「自分らしく生きるチカラ」について考えたり、現役の女性外交官のキャリアトークを聴いたり、「リーダーシップって何だろう？」を考えるグループ討議も行いました。毎回のディスカッションでは、女の子たちは、司会・記録・発表係を分担し、みんなの意見を取りまとめ、限られた時間内に発表するという経験もしました。人前で要領よく話すことは大人でも訓練が必要なことですが、緊張しながらも積極的に挑戦し、回を重ねることに上達していく女の子たちの姿に、私も熱い思いが込み上げました。

授業やクラブ活動が終わって駆けつけ、遠方から飛行機や夜行バスを使って参加する様子も見られました。女の子たちの瞳はキラ☆キラしていて、これから挑戦したいこと、やってみたいことに溢れていました。各回のプログラムメッセージはもちろんのこと、地域や学年を超えた女の子たち同士の交流、さまざまな経験を持つ講師やメンターたちの話は刺激的だったことでしょう。私自身も毎回のプログラムが楽しみで、終了時には別れ難い思いでした。

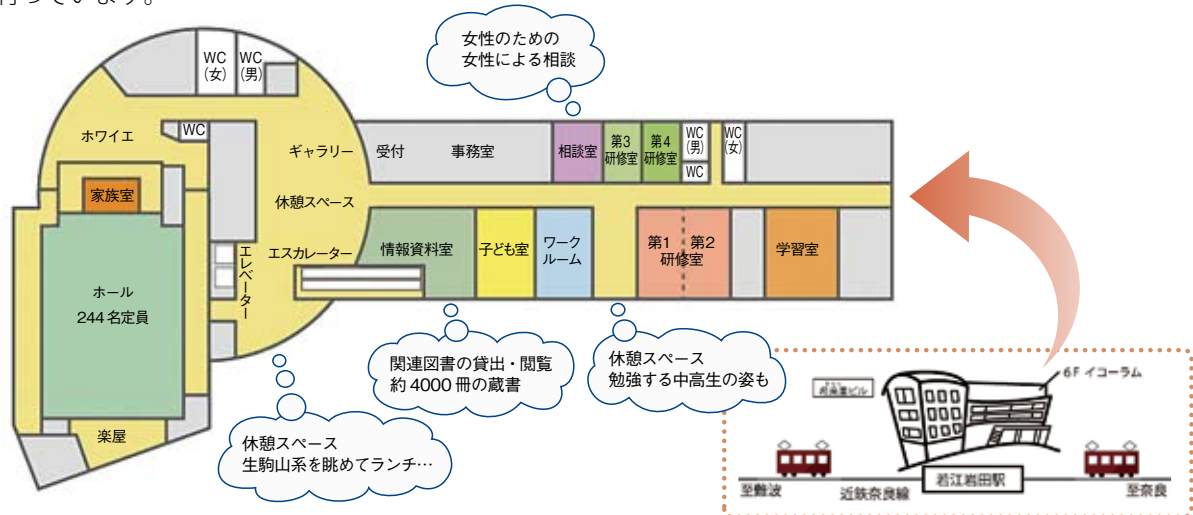
女性活躍と言われる今、社会の環境は変わりつつありますが、女性が自分らしくリーダーシップを発揮するにはまだまだ…。女性に対する暴力等の問題、社会の構造的な問題、さまざまな困難があっても力が発揮できないという現状もあります。先輩女性が切り拓いてきた道を歩く私たちが、もう少し道幅を広げるよう努めたい。これからの時代を生きる女の子たちには大きく、思いっきり羽ばたいて欲しい。心からエールをおくります！





イコーラム指定管理2期を折り返して

ドーン財団は平成 23（2011）年度から東大阪市より事業を受託し、東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの管理運営を担っています。現在 2 期（平成 26（2014）年度～ 30（2018）年度）の 3 年目です。11 人の職員で施設管理および事業運営を一体に行っています。



●施設利用

平成 27（2015）年度、7 月より休館日が毎月曜日から第 4 月曜日のみとなり、利用者数が前年比 110% と大きく増えました。

指定管理 2 期では、利用者アンケートの実施や案内用の液晶ディスプレイの機種交換、その他施設案内表示の改善、無線 LAN (Wi-Fi) サービスの開始など、利用者との距離が近く、目が行き届くワンフロアの利点を活かした施設運営を行ってきました。

●事業

年間 41 コマの東大阪市主催事業と市民協働事業を含む財団自主事業を実施しています。国が定めた男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動にちなんだ催しはもちろんのこと、市民の皆さんの生き方を支える多彩な事業を展開しています。

さらに、市民のグループや登録団体の活動支援から、市民の企画による市民協働事業を平成 27（2015）年度より新たに実施するなど、市民の皆さんとイコーラムとの協働が広がってきており、地域に根を下ろす活動が深まってきたと感じています。

また、女性の起業支援や食育、市内の小・中・高等学校への出張講座など、東大阪市関係機関との連携も進めています。特に、男女共同参画週間にちなんだ記念のついでで表彰する「ひとことメッセージ」は、市内の小・中・高等学校や大学との連携のもと、子どもの頃から男女共同参画について考える機会として継続して取り組んでできました。大学との連携は、他にインターンシップ受入れや学生のキャリア支援にも取り組んでいます。

相談事業では、女性のための各種相談の他、指定管理 1 期より月 2 回の男性電話相談も実施しています。

今後も、生きづらさを抱える人に寄り添い、市民のニーズに応える事業の展開と市民に愛される施設をめざし、職員一同さらに努力をしてまいりますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

市民協働事業



女性の起業支援



ひとことメッセージ



(平成 29 年〈2017〉2 月 28 日現在)

【受託事業】

■大阪府（府民文化部）大阪府男女共同参画推進のための相談事業等業務（～ 31 年度）／女性輝く相談週間におけるワンストップ相談会事業／（健康医療部）不妊専門相談センター事業■東大阪市／東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業（～ 30 年度）■内閣府／東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業／熊本地震による配偶者からの暴力等の相談機能緊急強化等事業／女性に対する暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ事業／性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業／性犯罪被害者等支援体制整備促進事業■大阪府泉大津市／男女共同参画セミナー■石川県／DV相談員等育成研修■三重県伊賀市／男女共同参画事業■大阪女学院大学・短期大学／人権教育講座■近畿大学総合社会学部／キャリアサポートセミナー

【講師派遣等】

四條畷市／和泉市／門真市／寝屋川市／大東市／岸和田市／大阪府府民文化部男女参画・府民協働課／大阪府教育センター／吹田市立男女共同参画センター／寝屋川市立男女共同参画センター／京都府男女共同参画センター／東大阪市教育

委員会／東大阪市社会福祉協議会／（公財）東大阪市産業創造勤労者支援機構／精華高等学校／大阪府立春日丘高等学校／大阪府立枚方高等学校／大阪府立寝屋川高等学校／大阪成蹊女子高等学校／大阪府立四條畷高等学校／交野市立第二中学校

【委員等応嘱】

NPO 法人全国女性会館協議会理事／（公財）大阪府市町村振興協会・おおさか市町村職員研修研究センター運営審議会委員／門真市男女共同参画審議会委員／専門図書館協議会関西地区連絡会委員 等

【助成金を獲得した事業】

■在日米商工会議所（ACCI）関西支部

【受入】

■大阪府教育委員会民間企業等派遣研修員■JICA 青年海外協力隊技術補完研修■サンディエゴステイト大学インターンシップ

民間企業等派遣研修員の受入れ

ドーン財団では次世代育成事業の一環として、大阪府教育委員会の民間企業等派遣研修員を受け入れています。財団での半年間を振り返って、メッセージをいただきました。

【感想】

平成28（2016）年10月より、研修や催しの運営業務を経験させていただいています。研修が始まってからの毎日は、あっという間に過ぎて行きます。それは、初めて経験させていただく業務で充実した時間を過ごすことができているからだと感じています。特に、参加者の方からのお声掛けをいただいた際には、うれしく思い、また日々の業務の励みにもなっており、大変感謝しております。

そんな中で、学校現場での男女共生教育の重要性についても考えを深められる良い機会もいただいています。今まで以上に、広い視野で物事を捉え分析をする力を身に付け、高めていきたいと考えています。また、様々な方との出会いの中で、新たな知識、情報に触れることも大きな学びとなっています。「毎日が勉強である」「まだまだ学べることはある」という気持ちを忘れずに、この研修を通して感じたこと、学んだことを4月からの教育現場でも役立てたいよう、3月の末まで業務に取り組んでいきたいと思っています。

長谷川由佳（大阪府内中学校教諭）

研修期間：2016年10月1日～2017年3月31日

母と娘の関係を考えるグループカウンセリング、シングルマザーのためのキャリアカウンセリングのほか、内閣府受託事業、大阪府受託事業等を担当。

財団理念

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団（愛称：ドーン財団）は「男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる、真に豊かな社会の実現に貢献します。

賛助会員募集中

賛助会員の皆さまには、当財団が実施している事業の案内をお届けするほか、当財団が指定する事業に会員割引で参加できるなどの特典があります。詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

<http://www.dawn-ogef.jp/support/index.html>

財団に関する最新情報はホームページでご案内しています。
〔ドーン財団〕で検索。

→<http://www.dawn-ogef.jp>

ドーン財団

検索



デザイン・レイアウト メディアイランド
編集・発行 ドーン財団（一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団）
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15
大手前センタービル12F
TEL：06-6910-8615 FAX：06-6910-8624
<http://www.dawn-ogef.jp>

発行日：平成29（2017）年3月15日